種	目 道 徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観点	教科書名等項目	2・東書	道徳・701 道徳・801 道徳・901	新訂 新しい道徳1 新訂 新しい道徳2 新訂 新しい道徳3
	地域への興味関心	と文化の 一員である 活動等を ての読み いる。 第2学年〈郷土の伝統 と文化の できるこ。 げている。	等重、国を愛する態度〉であることを実感できるのは、取り上げている。また、対象材と、付録にアイヌである数材と、付録にアイヌであると文化の尊重、郷土を登り重、国を愛する態度〉であるとはどのようなことがある。また、第2学年では霧	愛する態度〉〈我が国の伝統 を扱い、郷土に住み、郷土の どのようなときかを考える 当別市出身の植松努氏につい 古式舞踊について紹介されて 愛する態度〉〈我が国の伝統 を扱い、郷土のために自分が るのか考える活動等を取り上 多布が舞台となる読み物教材
		と文化の <sup>1</sup> は、どの。 等を取り	流と文化の尊重、郷土を雪 尊重、国を愛する態度〉る ような伝統や文化が受け	愛する態度〉 〈我が国の伝統 を扱い、自分たちの郷土に 継がれているかを考える活動 唯一郎氏についてと、小樽市 ている。
取扱	命の連続性	感したのは 第2学年〈生命の尊 には、ど る。	はどのようなときかを考えさ〉を扱い、生命の尊さるのような気持ちが大切かる	命の大切さやありがたさを実 える活動を取り上げている。 を心に刻んで生きていくため を考える活動を取り上げてい
内		のような	ことが大切かを考える活動	生き抜いていくためには、ど 動を取り上げている。 D弱さを乗りこえるために必
容	自己肯定感・自己有用感 の醸成	要なこと、 のような。 第2学年〈向上心、 しい生き	人間として生きることの ときかを考える活動を取り 固性の伸長〉〈よりよくな 方をするためには、どうい	のすばらしさを感じるのはど
		第3学年〈向上心、( クラスメ・ づいたと	ートのよいところを見つめ	生きる喜び〉を扱い、自分や めたり、あやまちや失敗に気 することが必要かを考えたり
	生活習慣 (ゲーム・スマホ)	はどのよ 第2学年〈節度、節 を整える る。	うなちがいがあるかを考; 制〉を扱い、基本的な生活とき、大切にしたいことを	をすることと、頑張ることに える活動を取り上げている。 舌習慣を身につけ、心や身体 を考える活動を取り上げてい
		日頃から、		の危険性を考えるとともに、 舌を心がけようと自分で意識 等を取り上げている。

	情報化への対応		第1学年〈友情、信頼〉を扱い、インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動を取り上げている。 第2学年〈友情、信頼〉を扱い、メッセージアプリを通して、友達との友情を育てていくためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。 第3学年〈友情、信頼〉を扱い、SNSでメッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするために、どのようなことに配慮する必要があるのかを考える活動等を取り上げている。			
	男女	(平等	第1学年〈友情、信頼〉を扱い、友達とともに成長していくためには、どのようなことが必要かを考える活動を取り上げている。 第2学年〈友情、信頼〉を扱い、友情を育てていくうえで、大切にしなければいけないことを考える活動を取り上げている。 第3学年〈友情、信頼〉を扱い、友情を深めるために必要なことを考える活動を取り上げている。			
	いじめ問題への対応		第1学年〈相互理解、寛容〉〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、いじめと遊びのちがいや、いじめの状況を作らないために、どうすればよいかを考える活動等を取り上げている。 第2学年〈公正、公平、社会正義〉〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、いじめはいじめられた人の心に、どのような傷あとを残すものなのか、いじめを止めるのは、どのような心なのかを考える活動等を取り上げている。 第3学年〈公正、公平、社会正義〉〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、人を追い込んでしまう心、助ける心について話し合い、いじめをしないために、大切にすることを考える活動等を取り上げている。			
 内 容	教	中心的に扱う教材	第1学年31 (読み物27、漫画2、他2) 第2学年33 (読み物27、漫画3、他3) 第3学年31 (読み物26、写真1、漫画1、他3)			
谷の構成・排	材数数	補助的に扱う教材	第1学年7 (読み物・コラム6、写真1) 第2学年5 (読み物・コラム4、写真1) 第3学年5 (読み物・コラム5)			
列	議論を行い自分との関わ りで考察できる工夫		各学年に考えを深めるための話し合いの手順を示す「話し合いの手引き」 を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断 し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。			
	家庭との架け橋となる工 夫		各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びを振り返ろう」を配置し、保護者が生徒の考えを目にすることができるようになっている。			
使用用	地域の人々との連携や地 域の行事との関連を図っ た学習活動の充実		各学年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載されて おり、自分たちの地域のためにどんなことができるかを考えることができ るよう工夫されている。			
上 の 配	自らの成長を実感した り、これからの課題や目 標を見つけたりする工夫		各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。			
慮等	教材ごとのねらいやテー マの掲載状況		教材ごとに、考える観点が示されている。「日々を見つめて」「寄りそう中で」など、内容項目をイメージするためには少し抽象的。			
		すごとの展開における 引の掲載状況	教材の中心発問と、自己を振り返る一般化の発問が掲載されている。			
その他	の   その他の特色   ブルックで思えて音でためのホッケーが、下角はからいている。					

種	道 道 徳	発行者の		教科書の記号・番 号	教 科 書 名
観点	教科書名等項目	17・教出		道徳 702 道徳 802 道徳 902	中学道徳1 とびだそう未来へ中学道徳2 とびだそう未来へ中学道徳3 とびだそう未来へ
		第1学年	と文化の	尊重、国を愛する態度	土を愛する態度、我が国の伝統 >を扱い、地域に昔からある伝
	地域への興味関心	第2学年	を取り上に <郷土の付 と文化の1	げている。 伝統と文化の尊重、郷 尊重、国を愛する態度	なぜ大切なのかを考える活動等 土を愛する態度、我が国の伝統 ことが必要かを考える活動等
		第3学年	を取り上に <郷土の( と文化の) 受け継いで	げている。 伝統と文化の尊重、郷 尊重、国を愛する態度 でいきたいもの、世界/	はことが必要がを考える店勤等 注と愛する態度、我が国の伝統 €>を扱い、日本の伝統や文化で こ発信したいものを考える活動等
		第1学年	を取り上げく生命の		何のためにこの世に生まれ、何
	A - >4/4/4/1/	第2学年			考える活動を取り上げている。 る限り精一杯生きることとは、
	命の連続性	第3学年	どのようし	に生きることかを考え	る活動等を取り上げている。 さと向き合っていくためには、
		×1,	どのよう	なことが大切かを考え	る活動等を取り上げている。
取		第1学年	を追求す		、個性を伸ばし充実した生き方いて考える活動を取り上げてい
扱	自己肯定感・自己有用感の醸成	第2学年			、自分らしさを生かすとはどう を尊重して、その能力を伸ばす
   内       容	(グ)自接力又	第3学年	<向上心、 能力を伸び	、個性の伸長>を扱い	動等を取り上げている。 、個人の価値を尊重して、その との大切さについて考える活動
台		第1学年	<節度、質対する意	節制>を扱い、望まし 欲を高め、自主及び自	い生活習慣を身に付けることに 律の精神について考える活動を
	生活習慣 (ゲーム・スマホ)	第2学年		節制>を扱い、お金の	価値について考え、自主及び自 る活動を取り上げている。
		第3学年	<自主、  ことの大	自律、自由と責任>を	扱い、自分の役割に責任をもつ 自律の精神を養うことの大切さ
		第1学年	<自主、	自律、自由と責任>、	く遵法精神、公徳心>を扱い、 ルールやマナーは、自分たちの
	情報化への対応	第2学年	生活になせく節度、領	ぜ必要なのかを考える活 節制>、<友情、信頼ご	5動等を取り上げている。 >を扱い、SNSをよりよく利用 は何かを考える活動等を取り上げ
		第3学年	電話をより		>を扱い、スマートフォンや携帯 めには、どのようなことが大切か
	男女平等	第1学年	<友情、作	言頼>を扱い、「つき	合う」とはどういうことかを考 を重んずる態度を養うことの大

第2学年 〈友信、信頼〉を扱い、学校生活の中での役割と性別との関係性について考える活動等を取り上げている。第3学年 〈友信、信頼〉を扱い、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んする態度を受うことの大切らを考える活動を取り上げている。第1学年 〈公正、公平、社会正義〉を扱い、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることの大切。 第2学年 〈公正、公平、社会正義〉を扱い、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んすることの大切。 第2学年 〈公正、公平、社会正義〉を投い、差別を重んすることの大切。 第3学年 〈相互理教〉を扱い、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んすることの大切。 また、各学年とも、「いじめや売別のない社会にしていくためにはどうすればよいか考えることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んすることの大切。 また、各学年とも、「いじめや売別のない社会にしていて深く考える教材、を複数組み合わせたエン・シトを設けている。また、各学年とも、「いじめや売別のない社会にしていて深く考える教材、を複数組み合わせたエン・シーを表しり上げている。また、各学年とも、「いじめや売別のない社会について深く考える教材、を複数組み合わせたエン・シーを表しり上でいる。また、各学年とも、「いじかや売別のない社会について深く考える教材、参しいて、表しいである。また、全学年、30(流み物27、写真2、他1)第2学年 30(流み物27、写真2、他1)第2学年 3(流み物27、写真2、他1)第2学年 5(添み物5)第2学年 5(添み物5)第2学年 5(添み物5)第2学年 5(添み物5)第2学年 5(添み物5)第2学年 5(添み物5)第2学年 5(添み物5)第2学年 5(赤み物5)第2学年 5(赤み物5)第2学年 5(赤み物5) 第2学年で10分の考えを表に話し合い、考えを交流させる問いが設けられており、自分の考えを基には、学びを振り取るための考え込み確か設けられており、自分の考えを書にしている。 巻字でで「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載されている。 大での指載を上のいる。 巻字で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、地域社を見つに対したがら自分の目標を書くべージが、地域を上によって対したがあら自分の目標を書くべージが、からと意当さいにあり、主がいての対しまができるよう「大きかいの主を書づいている。 十つの技会が大にな当するかが示され、「電入」において教材で何を表と、学んでいくのかが示されており、「野ななないできるよう」に対してのかを言当づい、「学のかを言語がし、一種入りにおいて教材で何をある」に対して必然を対している。 十つの技会が大にな当すかが示されており、に等ないを認めることができるよう「たかいのを発動のない社会」「で考え、多面的・多角的に捉える」「道的的諸価値の理解を違めることができるよう」に対して必然を対している。 サインの対点ができるようになっている。 十つの技会が大にな当すが独立されている。 サインの対点ができるようになっている。 サインの対点が表れている。 サインの対点ができるようになっている。 「学のでの対しながないないないないないないないないないないないないないないないないないないな								
#について考える活動等を取り上げている。 第 3 学年 〈女信、信賴〉を扱い、男女の平等、自他の敬愛と協力を重め、				切さについて考える活動等を取り上げている。 第 2 学年 く 友情 信頼 > を扱い 学校生活の中での役割と性別との関係				
第3学年 〈友妹 信頼〉を接い、男女の平等、自他の敬愛と協力を重ん。第3学年 〈公正、公平、社会正義〉、〈相互理解、寛容〉を投い。正義と責任、自他の敬愛と協力を重んがることの大切さについている。第2学年 〈公正、公平、社会正義〉、〈相互理解、寛容〉を放し上げている。第3学年 〈相互理解、寛容〉、《公正、公平、社会正義〉を放い。正義と責任、自他の敬愛と協力を重んがることの大切さを考える活動を取り上げている。第3学年 〈相互理解、寛容〉、〈公正、公平、社会正義〉を接い、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んがることの大切さを考える活動がを取り上げている。第3学年 〈相互理解、寛容〉、〈公正、公平、社会正義〉を接い、差別 〈個見のない社会にしていくためにはどうすればよいか考えることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずることの大切さを考える活動がを取り上げている。 また、各学年とも、「いしめや差別のない社会について深く考える教材」を複数部分を制力ない社会にしていく。 とができるようになっている。 また、各学年とも、「いしめや差別のない社会について深く考える教材」を複数部分を考えら活動がを取り上げている。 第3学年 30 (議み物27、写真2、他1)第2学年 30 (議み物27、写真2、他1)第2学年 30 (議み物27、写真2、他1)第2学年 30 (議み物27、写真2、他1)第2学年 30 (議み物27、写真2、他1)第2学年 5 (議み物5)第2学年 5 (表み物5)第2学年 5 (表み物5)第2学年 5 (表み物5)第2学年 5 (表み物5)第2学年 5 (表み物5)第2 (本のとが変ができるよう工夫とないいる。参述には、学びを扱り返るための書き込み欄が設けられており、自分の考えを書には上来といいる。参学でで家接近と大の表の表を書談づして、その役割と責任の自覚を深めることができるようしてもからの登録がは、「学の方との自分の限を考えら、「との役割と責任の自覚を深めることができるよう上大されいる。 巻半には、学班3として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう上大されいる。 巻半には、学班3として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう上大されいる。 本学での権献状況 できるようになっている。 「一学での者とのように考え、多面的・多角的に提える」「道徳的諸価値の理解を戻のように考え、学んでいくのかが示されており、同様を表している。 「一学での遺しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、多面的・多角的に提える」「道徳的諸価値の理解を戻める」ことに対しる。「一学での者とのよう」がはまれている。 学者を述している。 学者を通して物に深く考えたい「いじめやを影別のない社会」「生めの等ま」について考え、像のが材やコラムではこうとが組まれている。 学者を通してやそといいいじめを影別のない社会」「生めの等ま」について考え、後れいでいたがもあるように表している。 学を通している。 4年には、学びについないは、日本のでは								
第1学年 <公正、公平、社会正義>、<相互理解、寛容>を扱い、正義と責任、男女の平等や自他の歌変と協力を重んすることの大切。 第2学年 <公正、公平、社会正義>を換し、正義と責任、自他の歌愛と協力を重んずることの大切。を考える活動等を取り上げている。 第3学年 <相互理解、寛容>、<公正、公平、社会正義>を検い、差別を偏見のない社会にしていくためにはどうすればよいか考えることで、正義と責任、自他の歌愛と協力を重んずることの大切。を考える活動等を取り上げている。 また、各学年とも、「いじめや差別のない社会について深く考える数材」を複数組合わせまたユニットを設けており、重層的に考え、深めていくことができるようになっている。 第1学年 30(読み物27、写真2、他1) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第二学年 5(読み物5) 第二学年 5(読み物5) 第二学年 5(読み物5) 第二学年の参照にオリエンテーションページが設けられ、話し合い活動が適切に行えるよう工夫されている。 参表のままに試し合い、考えを交流させる問いが設けられており、自分の考えを基に試し合い、考えを交流させる問いが設けられており、自分の考えを基に対している。 を学のと表し、「いじのいて考える教材が複数掲載され、家庭の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 を学部活動の元実 自の成長を実感した カリこれからを生きる皆さん〜」のページには保護者配人欄が設けられており、自分の表を実感した カリこれからの要述を見過している。 を学で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、事のの表を実感した カリ、定れからの学びを見通しながら自分の目標を書くページが、音味でしている。 とができるよう工夫されている。 「学の成長を実感し、これからの課題で目標を見つけることができるよう工夫されている。 なおでとの表が示されている。 「学ので通しるべ」で何をどのように考え、学のが示されており、明確な課題をもって主体的に学者との最初に記りて、「学習の限点」で学習指導要領に示されている。 な材でとの最初に記りて、「学習の限点」で学習指導要領に示されている もつの視点のどれに該当するかが示されており、順違な課題をもって主体的に学者との最初に記り入る。「で何をどのように考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的に学者との最初に記り入る。「で何をどのように考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的に学者との表別のないたとしてのあり方について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のないたも」「生命の尊ま」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のないたも」「生命の尊ま」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。				第3学年 <友情、信頼>を扱い、男女の平等、自他の敬愛と協力を重ん				
と責任、男女の平等や自他の歌愛と協力を重心することの大切								
第2学年 〈公正、公平、社会正義〉を検収、正義と責任、自他の敬意と協力を重んすることの大切さを考える活動を取り上げている。第3学年 〈相互理解、寛容〉、〈公正、公平、社会正義〉を扱い、窓別や偏見のない社会にしていくためにはどうすればよいか考えることで、正義と責任、自他の敬意と協力を重んすることの大切さを考える活動等を取り上げている。また、各学年とも、「いじめや窓別のない社会について深く考える教材」を複数組み合わせたユニットを設けており、重層的に考え、深めていくことができるようになっている。第1学年 30(読み物27、漫画1、写真1、他1)第3学年 30(読み物27、漫画1、写真1、他1)第3学年 30(読み物27、写真2、他1)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第2学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第2学年 7(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第1学年 5(読み物5)第2学年 7(読みり返みための書き込み欄が設けられており、自治活動が充実するよう工夫されている。参学には、学びを振り返るための書き込み欄が設けられており、自治活動が充実するように工夫されている。参学には、学びを振り返るための書き込み欄が設けられており、自治活動が充実により表したの問わり」について考える教材が複数掲載されており、家庭との連携を重視している。参学でを限り返るための書も込み欄が設けられており、音をとのできるよう工夫されている。を学年で「地域と自分との問わり」について考える教材が複数掲載され、地域社会の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 を理しているので表える歌が示され、「導人」において教材で何をテーマに考えていくのかを意識づけ、「学びの道しるべ」で何をどのより、対はことの表別の掲載状況 で学習に取り組訂ことができるようになっている。「学の過こるべ」で何をどのよりに掲載で記。対はでもの表別の掲載状況 で学習に取り組訂ことができるようになっている。「学の過こるべ」で何をどのより方についる。「学の道とる」「道徳的諸価値の理解を深める」ことに関する間いが3つ掲載されており、毎間を選集され、人間を記載されている。「学習を通して物に深く考えたい「いじめを差別のない社会」「生命の尊ら」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。学習を通して物に深く考えたい「いじめを差別のない社会」「生命の尊ら」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。学習を通して物に深く考えたい「いじめを差別のない社会」「生命の尊ら」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。学習を通して物に深く考えたい「いじめを差別のない社会」「生命の尊ら」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。				と責任、男女の平等や自他の敬愛と協力を重んずることの大切				
第 3学年 〈和旦理解、寛容〉、〈公正、公平、社会正義〉を報といた。 第 3学年 〈和旦理解、寛容〉、〈公正、公平、社会正義〉を報と、 だりまたまされている。また、各学年とも、「いじめや差別のない社会にしていくためにほどうすればよいから考えることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずることの大切さを考える活動等を取り上げている。また、各学年とも、「いじめや差別のない社会について深く考える教材」を複数組み合わせたユニットを設けており、重層的に考え、深めていくことができるようになっている。 第 1 学年 3 0 (読み物 2 7、漫画 1、写真 1、他 1) 第 3 学年 3 0 (読み物 2 7、漫画 1、写真 1、他 1) 第 3 学年 3 0 (読み物 2 7、漫画 1、写真 1、他 1) 第 3 学年 3 0 (読み物 2 7、漫画 1、写真 1、他 1) 第 3 学年 3 0 (読み物 2 7、漫画 1、写真 1、他 1) 第 3 学年 3 0 (読み物 2 7、漫画 1、写真 1、他 1) 第 3 学年 5 (読み物 5) 第 1 学年 5 (読み物 5) 第 2 学年 6 (読みか 5) 第 2 学 6 (読みか								
中心の問題への対応								
で		いじ	じめ問題への対応					
切さを考える活動等を取り上げている。また、各学年とも、「いじめや整別のない社会について深く考える教材」を複数組み合わせたユニットを設けており、重層的に考え、深めていくことができるようになっている。			, , ,, ,, ,					
また、各学年とも、「いじめや差別のない社会について深く考える教材」を複数組み合わせたユニットを設けており、重層的に考え、深めていくことができるようになっている。 第1学年 30(読み物27、漫画1、写真1、他1)第2学年 30(読み物29、漫画1)第3学年 30(読み物29、漫画1)第3学年 5(読み物5)第1学年 70歳を行い自分との関わりについて考える教材が複数掲載されており、書かの人をとの連携を削していて考える教材が複数掲載されている。巻末には、考算できるように工夫されている。巻本には、学期ごとに学びを浸り返って記録するページが設けられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。参加でとのよりによいて、「学習の視点」で学習指導要領に示されている者実には、学期ごとに学びを提り返って記録するページが設けられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるようででの過しるペリでおおけられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるようででの道しるペリでおおけられている。学習を実成し、これからの課題をもつて記体的と学習に対していての表がに記述するかが示されて記り、明確な課題をもつて記体的と学習に取り組むことができるようになっている。発表とかできるようになっている。発表、多面的を育飾されており、明確な課題をもつて主体的と学習に対していて考え、第1が記者ができるように指述されている。学習を通して対して表え、深い学びにつなげられるように掲載されている。学習を通して対にでえる、第1が記者を連続させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。学習を通して対して表え、深い学びにつなげられるように掲載されている。学習を通して対していて考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。学習を通して対していて考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。学習を通して対していて考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。学習を通して対していて表え、深いで記述を表していて表え、深いで記述を表しまれている。第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。 第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。巻末には、第1が記述を表しまれている。 第1が記述を表しまれている。 第1が記述を表								
とができるようになっている。								
対す								
内容の構成 が								
(株) 第3学年 30(読み物27、写真2、他1) 第1学年 5(読み物5) 第2学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第2学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第1学年 5(読み物5) 第2学年の参類にオリエンテーションページが設けられ、話し合い活動が適切に行えるよう工夫されている。 教材末には、自分の考えを基に話し合い、考えを交流させる問いが設けられており、自分の考えを書いて整理し、考察できるように工夫されている。 答案には、学びを振り返るための書き込み欄が設けられており、自分の考えを書いて整理し、考察できるように工夫されている。 客座の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との架け橋となる工夫で記からを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との選携を重視している。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との選携を重視している。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 で響活動の充実 自らの成長を実感し、これからの学びを見通しながら自分の目標を書くページが、巻末には、学期ごとに学びを振り返って記録するページが設けられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるように、学期ごとに学習には、ご覧でも記述されて、「学習の視点」で学習指導要領に示されている、すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている、すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている。 「学びの道しるべ」において、「野園意識をもつて主体的に学習に取り組むととができるようになっている。「学びの道しるべ」において、間をご覧を変している。「学びの道しるべ」において、間を識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、そんでいくのかが示されており、母間を連携させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の専さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。		数	   中心的に扱う教材					
#	内宏							
## 別	$\mathcal{O}$	材		第1学年 5(読み物5)				
## 別	構   成	数	補助的に扱う教材					
## できるできる工夫 切に行えるよう工夫されている。 教材末には、自分の考えを基に話し合い、考えを交流させる問いが設けられており、自分の考えを書いて整理し、考察できるように工夫されている。 巻末には、学びを振り返るための書き込み欄が設けられており、自分の考えを書いて整理し、考察できるように工夫されている。 各学年で「家族と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、家庭の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を重視している。	排							
一次	列							
巻末には、学びを振り返るための書き込み欄が設けられており、自分の考えを書いて整理し、考察できるように工夫されている。 各学年で「家族と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、家庭の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を重視している。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を重視している。 を学程で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、地域社会の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 自らの成長を実感したり、これからの学びを見通しながら自分の目標を書くページが、巻末には、学期ごとに学びを振り返って記録するページが設けられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。 すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されているもつの視点のどれに該当するかが示され、「導入」において教材で何をテーマに考えていくのかを意識づけ、「学びの道しるべ」で何をどのように考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、学しての方の方において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、楽に学びにつなげられるように掲載されている。学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。	分							
を書いて整理し、考察できるように工夫されている。	等							
会学年で「家族と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、家庭の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を重視している。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を重視している。 各学年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、地域社会の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 もの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。 を頭には、これからの学びを見通しながら自分の目標を書くページが、巻末には、学期ごとに学びを振り返って記録するページが設けられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。 すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されているもつの視点のどれに該当するかが示され、「導入」において教材で何をテーマに考えていくのかを意識づけ、「学びの道しるべ」で何をどのように考え、学んでいくのかが言されており、明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」ことに関する問いが3つ掲載されており、各間を連携させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。								
家庭との架け橋となる工夫されている。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を重視している。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を重視している。 巻字年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、地域社会の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 を 当の成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。 を 当の成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。 を すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている。 な すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている。 すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている。 すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている。 な すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている。 すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている。 すべての教材において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」ことに関する問いが3つ掲載されており、各間を連携させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。	$\vdash$							
大き とれている。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を重視している。 地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実 およう工夫されている。 各学年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、地域社会の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 巻頭には、これからの学びを見通しながら自分の目標を書くページが、巻末には、学期ごとに学びを振り返って記録するページが設けられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。 すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている 4つの視点のどれに該当するかが示され、「導入」において教材で何をテーマに考えていくのかを意識づけ、「学びの道しるべ」で何をどのように考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」ことに関する問いが3つ掲載されており、各問を連携させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。		安成	えしの加け呑しかるて					
使 地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実		II	きこの未り 備こなる上					
世域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実 おい、地域社会の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。   巻頭には、これからの学びを見通しながら自分の目標を書くページが、巻末には、学期ごとに学びを振り返って記録するページが設けられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。   すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている4つの視点のどれに該当するかが示され、「導入」において教材で何をテーマに考えていくのかを意識づけ、「学びの道しるべ」で何をどのように考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。   「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」ことに関する間が3つ掲載されており、各間を連携させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。   学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。								
域の行事との関連を図った学習活動の充実	/	地域の人々との連携や地						
上 自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫 と	1史	II .						
を表示には、学期ごとに学びを振り返って記録するページが設けられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。  ***********************************	用	た当	学習活動の充実					
の 標を見つけたりする工夫	上	自身	っの成長を実感した					
正天されている。	の	II .						
度 教材ごとのねらいやテーマの掲載状況 4つの視点のどれに該当するかが示され、「導入」において教材で何をテーマに考えていくのかを意識づけ、「学びの道しるべ」で何をどのように考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」ことに関する問いが3つ掲載されており、各問を連携させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。	一一	憬る	と見つけたりする上大 					
等 マの掲載状況 デーマに考えていくのかを意識づけ、「学びの道しるべ」で何をどのように考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけ で考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」ことに関する問いが3つ掲載されており、各問を連携させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊 さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。								
等 マの掲載状況 うに考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的 に学習に取り組むことができるようになっている。 「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけ で考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」こと に関する問いが3つ掲載されており、各問を連携させ、人間としてのあ り方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊 さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。								
「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけ 教材ごとの展開における で考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」こと に関する問いが3つ掲載されており、各問を連携させ、人間としてのあ り方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊 さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。	等	70	)掲載状況					
数材ごとの展開における で考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」こと				に学習に取り組むことができるようになっている。				
発問の掲載状況 に関する問いが3つ掲載されており、各問を連携させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。		<del>*/+</del> +	ナデレの屈則におけて					
り方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。 学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊 さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。								
さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。		フロ  中]ヾノ (7号) 事及(小) ( 1/5		り方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。				
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
┃の ┃その他の特色          補充教材については、郷土資料や自作教材等と差し替えて弾力的に使用   ┃	その	マ の	)他の特色	さ」について、侵数の教材やコフムでユニットが組まれている。   補充教材については、郷土資料や自作教材等と差し替えて弾力的に使用				
他  おることが可能になっており、学校の重点目標に応じて、柔軟に年間指			>  □ •>  4 □					
導計画をつくることができるように配慮されている。				導計画をつくることができるように配慮されている。				

				10 At + 1
種	道徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観	教科書名等		道徳・703	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき
	VIII 11.1	38・光村	道徳・803	中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき
点			道徳・903	中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき
	項目		,_	
	地域への興味関心	伝統と文 土のが知味 思道知子の 第2学年 (郷土のとき、 文がでして、 京の 第3学年 (郷土のときる) 「第3学年 (郷土のとをきる) 「大学のでで、 大のでで、 大ので、 大ので、 大ので、 大ので、 大ので、 大ので、	化の尊重、国家、国家、国家化の尊重、国家作者、国家作者、国家、国家、国家、国家、国家、国家、国家、国家、国家、国家、国家、国家、国家、	を受ける。 を対が住よう、材 を対が住よう、材 を動と、 を動と、 を変とた上げ著者 を変とた上げ者者 を変とた上げ者者 を変とた上げ者者 を変とた上げ者者 を変とた上げ者者 を変とた上げ者者 を変とた上げ者者 を変とた上げ者者 を変としたがある。 を変となりのできるといる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいが、大いる。 を変としたいができたいる。 を変としたいる。 を変といる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変といる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変としたいる。 を変となる。 を変とななる。 を変となななななななななななななななななななななななななななななななななななな
取扱	命の連続性	第1学年〈生命の尊 は、どの る。 第2学年〈生命の尊 るのはど 第3学年〈生命の尊	さ〉を扱い、身近な生 ようなことが大切かを さ〉を扱い、生きるこ のようなときかを考え さ〉を扱い、生きてい	き物の命を尊重するために 考える活動を取り上げてい とが当たり前ではないと感じる活動を取り上げている。 つる間に命を大切にするために かを考える活動を取り上げて
内 容 ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	自己肯定感・自己有用感の醸成	第1学年〈自主・自行 に大切な 第2学年〈家族愛、 できるこ 第3学年〈向上心・ 人の言葉	ことについて考える活 家庭生活の充実〉を扱 とについて考える活動 個性の伸長〉を扱い、	人の生き方について語った先 pめ、自分を輝かせるためのヒ
	生活習慣 (ゲーム・スマホ)	ついて考 第2学年〈節度・節i 必要なこ 第3学年〈節度・節i 構えにつ	える活動を取り上げて 制〉を扱い、「依存」 とについて考える活動 制〉を扱い、よい生活 いて考える活動を取り	に陥らない生活を送るために かを取り上げている。 計習慣を実践するのに大切な心 上げている。
	情報化への対応	なる人と える活動 第2学年〈節度・節語 手に利用 える活動 第3学年〈遵法精神、を発信す	関わり合うためには、 を取り上げている。 制〉を扱い、携帯電記 していくためには、と を取り上げている。 、公徳心〉を扱い、イ	・一トフォンを使って立場の異どのようなことが大切かを考 をやスマートフォンを扱い、上でのような心構えが必要かを考 がような心構えが必要かを考 シターネットを使って、情報 かなことに配慮する必要がある いる。

	男女平等いじめ問題への対応		第1学年〈友情、信頼〉を扱い、社会で他者と共に生きていくために大切なことについて考える活動を取り上げている。 第2学年〈友情、信頼〉を扱い、同性同士の友情と異性との友情に違いはあるのかということを考える活動を取り上げている。 第3学年〈友情、信頼〉を扱い、友達とはどんなものかを考える活動を取り上げている。	
			第1学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、いじめが起こらない社会を作るために大切なことについて考える活動を取り上げている。 第2学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、誰もが安心して過ごせる社会のために大切なことについて考える活動を取り上げている。 第3学年〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、自分で考え誠実に行動するとは、どういうことを考える活動を取り上げている。	
内	教材	中心的に扱う教材	第1学年 31(読み物・コラム29、漫画2) 第2学年 31(読み物・コラム30、漫画1) 第3学年 31(読み物・コラム31)	
容の構成・	数	補助的に扱う教材	第1学年 4(読み物・コラム4) 第2学年 4(読み物・コラム4) 第3学年 4(読み物・コラム3、漫画1)	
排列	議論を行い自分との関わ りで考察できる工夫		各学年に、多面的・多角的な見方や考え方による話し合いの視点を示す 「見方を変えて」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中 で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるようにな っている。	
	家庭との架け橋となる工夫		「つなげよう」の部分で、授業で学んだことを他教科や日常生活との関わりで考えられるようになっている。また、教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、保護者からも生徒の道徳性に関わる成長を実感したり、保護者の意見を記入したりする欄が設定されている。	
使用	地域の人々との連携や地 域の行事との関連を図っ た学習活動の充実		全ての学年で郷土の伝統と文化に関する教材があり、郷土を大切にし、 有形無形の美しさや国や郷土への誇り、愛情を感じることが出来るよう に工夫がなされている。	
上の配	自らの成長を実感した り、これからの課題や目 標を見つけたりする工夫		教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に関わる成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。	
事		すごとのねらいやテー ○掲載状況	教材ごとに内容項目に関わる文言が冒頭に示されている。また、テーマ別に分類された目次も掲載されている。各学年に、教材ごとに多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりするための学習のめあてを示す「てびき」を配置し、生徒が主体的に取り組むことができるようになっている。	
		すごとの展開における 引の掲載状況	各教材に価値理解、自己理解、人間理解に関わる発問が1~3問ずつ発 問が示されている。	
その他	<ul><li></li></ul>			

種		発行者の	番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観	教科書名等			道徳・704、705	中学道徳 あすを生きる 1、中学道徳あすを生きる 1 道徳/小
'		116	ら・日文	道徳・804、805	中学道徳 あすを生きる 2、中学道徳あすを生きる 2 道徳/-ト
点	7.5			道徳・904、905	中学道徳 あすを生きる3、中学道徳あすを生きる3道徳/小
<u> </u>	項目	笠 1 兴年	/郷上のに幼	しないの善手 郷上なる	会子で作品 / 44が日の仁幼
		第 1 子牛 	と文化の尊	重、国を愛する態度〉	受する態度〉 〈我が国の伝統 を扱い、自分が住んでいる地 未があるかを考える活動等を
			取り上げて	いる。また、洞爺湖温泉	泉が舞台となる読み物教材が
		<b>第</b> 0	扱われてい	- •	至十7化庄〉 / 44公司のため
		弗 2 子午 			受する態度〉 〈我が国の伝統 を扱い、郷土の伝統や文化を
	地域への興味関心				どのようなことかを考える活
			動等を取り	上げている。また、第2	2学年でえりも町と小樽市が
				読み物教材が扱われてい	- 0
		第 3 学年			受する態度〉〈我が国の伝統
			•		を扱い、伝統や文化を受け継 別にすればよいかを考える活
				上げている。	かにすれがなみ かって 力 たらは
İ		第1学年			って生きている自分とは、ど
				在であるかを考える活動	·
	●命の連続性	第2学年			こある支え合う生命には、ど
取		第 3 学年		のがあるかを考える活動	期を取り上けている。 0 や命をつないでいくことと
I IX		匆 子干		うなことかを考える活動	•
扱		第1学年			生きる喜び〉を扱い、自分の
				= -	なこと、自分の弱さを乗りこ
内			_	いくために大切なこと	を考える活動等を取り上げて
' '		第9学年	いる。 /南 に 、 個	州の仲長〉 / トルトノノ	生きる喜び〉を扱い、自分自
容	自己肯定感・自己有用感	另 2 子午			ア自分がどう変わっていきそ
	の醸成			· ·	こどんなことが大切かを考え
				取り上げている。	
		第3学年			生きる喜び〉を扱い、人の役
			に立つこと ている。	や生さかいについて考え	えたりする活動等を取り上げ
		第1学年			 こある「安全」について考え
		7 = 4 1		り上げている。	
	生活習慣	第2学年			充実した生活を送るために、
	(ゲーム・スマホ)	<b>佐</b> 0 兴仁		を考える活動を取り上に	=
		男3字年		/ を扱い、とりして「A なのかを考える活動をB	虫りを慎む」心をもっている   fiり上げている
		第1学年			を扱い、義務で守るルール
		/ = <b>4</b>			る」ルールにはどのようなも
				を考える活動等を取り	
	情報化への対応	第2学年			と責任〉を扱い、相手にとっ
					どのようなことが大切か、 考える活動等を取り上げてい
			インターホ る。	ファエv/貝(エに・フV・しゃ	マん句伯靭芽と奴リ上り ( ( )
1	1		<b>3</b> 0		

			第3学年〈友情、信頼〉〈遵法精神、公徳心〉を扱い、インターネットを 使う際の、相手の気持ちを考えた行動とはどのようなものかを 考える活動等を取り上げている。				
	男女平等		第1学年〈友情、信頼〉を扱い、異性に対して、人として互いに理解し合いたいと思うことは、どんなことかを考える活動を取り上げている。 第2学年〈友情、信頼〉を扱い、友達とよりよい関係を築いていくために、どんなことが大切かを考える活動を取り上げている。 第3学年〈友情、信頼〉を扱い、人を好きになるということは、どういうことかを考える活動を取り上げている。また、「さまざまな性」を扱い、誰もが自分らしく生きることの大切さを取り上げている。				
	いじめ問題への対応		第1学年〈自主、自律、自由と責任〉〈向上心、個性の伸長〉〈友情、信賴〉〈相互理解、寬容〉〈公正、公平、社会正義〉〈よりよい学校生活、集団生活の充実〉を扱い、お互いに認め合って生きていくために、大切なことを考える活動等を取り上げている。第2学年〈自主、自律、自由と責任〉〈友情、信頼〉〈公正、公平、社会正義〉〈よりよい学校生活、集団生活の充実〉を扱い、差別や偏見を生む原因はどんなところにあるのかを考える活動等を取り上げている。 第3学年〈友情、信頼〉〈相互理解、寛容〉〈公正、公平、社会正義〉を扱い、いじめという問題を乗り越えるためには、どんな考え方が大切かについて考える活動等を取り上げている。				
内容	教	中心的に扱う教材	第1学年35 (読み物33、漫画2、) 第2学年35 (読み物34、漫画1、) 第3学年35 (読み物32、他3)				
の構成・排	材    数 	補助的に扱う教材	第1学年7(写真1、漫画1、他5) 第2学年7(他7) 第3学年6(他6)				
列	議論を行い自分との関わ りで考察できる工夫		全ての学年で話し合いの手順を示す「道徳科での学び方」「学習の進め 方」が設けられており、学びをより深めるための手立てが示されている。				
	家庭夫	至との架け橋となる工	別冊道徳ノートに、印象に残った学習と、その理由を記入する「道徳科で 学んだことを振り返ってみよう」を配置し、保護者記入欄を設けている。				
使用	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実		各学年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載されて おり、自分たちの地域のためにどんなことができるかを考えることができ るよう工夫されている。				
上の配	自らの成長を実感した り、これからの課題や目 標を見つけたりする工夫		別冊道徳ノートに毎回、自分への振り返りを記入する欄が設けられている。また、学期ごとに「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。				
慮等	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況		教材ごとにタイトルとは別に、考える観点が示されている。「困難を乗り 越える力」「いじめのない集団」など、何を考えるのかが分かりやすい標 記になっており、導入発問としても活用できるよう工夫されている。。				
	教材ごとの展開における 発問の掲載状況		教材の中心発問(みんなで考えたり、議論する内容)と、これからの自分 にどう生かすかを考える発問(自分に+1)が掲載されている。				
その他	その	つ他の特色	別冊の道徳ノートが付属されており、授業用にワークシートを作成する必要はない。学習の参考資料へとアクセスできるQRコードがついている。 生徒にとってより身近な題材、深く考えさせる題材、いじめについて考える題材が多く扱われている。				

種	:目		発行者の		教科書の記号・番	教 科 書 名
			科	下 	号	V
観		教科書名等	38・学研		道徳・706	新・中学生の道徳 明日への扉 1
',-		71111111			道徳・806	新・中学生の道徳 明日への扉2
点					道徳・906	新・中学生の道徳 明日への扉3
		項目				
	地垣	への興味関心	第2学年	伝のえや郷伝いる滝郷伝統伝る本土統る活、土統と地動北のと地動北のと大きに、土統とは、土統と対域等海伝統のは、土統と大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、	化の尊重、国を愛する 文化を継承するにはる。 異を取り上げている。 異を文化の国を変化いる。 でと尊重に関うといる。 と誇り上げて、郷ま を取り上げて、郷ま を取り上げる。 を取り上げる。 を取り上げる。 を取り上がる。 を取りた。 を取りた。 を取りた。 を取りた。 を取りた。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をし	こを愛する態度〉や〈我が国の 5態度〉を扱い、地域にある伝
				きるかを り上げた	考える活動等を取り」 り、北海道出身の植材	)ように関わっていくことがで 上げている。また、蝦夷地を取 公努を取り上げたりしている。
		Newton		て、自分 <i>l</i> ている。	まどのようことを感じ	性や連続性、有限性につい じるかを考える活動を取り上げ 歴生に関わる話を聞いたり写真
扱	命の	命の連続性		を見たり 活動を取り 〈生命の尊る	したとき、自分はどの り上げている。 さ〉を扱い、自分にと	)ようなことを感じるか考える :って、命を大切にするという
			かる当年			きえる活動を取り上げている。
内				いうことだ	かを考える活動を取り	-
容	II '	と肯定感・自己有用感	第2学年		固性の伸長〉を扱い、 舌動が取り上げられて	夢を叶えるために大切なこと こいる。
	の間 	の醸成	第3学年		いくためにはどうすれ	さる意見を尊重しつつ、自分も いばよいかを考える活動が取り
				とについ	て考える活動を取り」	-
	II .	音習慣 <sup>デ</sup> ーム・スマホ)		要がある。	ことについて考える活	いに生活するために心掛ける必 活動を取り上げている。
				するため! る。	こはどうしたらよいか	に健康で生き生きとした生活を いを考える活動を取り上げてい
			第1学年	場の異なる		<ul><li>、スマートフォンを扱い、立 かには、どのようなことが大切 いる。</li></ul>
	情報	情報化への対応	第2学年		るためには、どのよう	、SNSを使って異なる意見 なことかを考える活動を取り
			第3学年			′ンターネットを使って周りの ⁻るために、どのようなことに

	1		Fig. 11,12,1,13,132,132,13,13, 40 x 40 40 40 1, 40 1, 13 .		
			気を付けなければならないかを考える活動を取り上げてい		
			<b>వ</b> 。		
			第1学年〈友情、信頼〉を扱い、お互いの存在の意義や男女間の友情に ついて考える活動を取り上げている。		
	甲士	ζ平等	第2学年〈友情、信頼〉を扱い、異性と信頼し合い、励まし合えるよう な友達関係を築くために大切なことについて考える活動を取		
	<del>71</del> 5	(十等	り上げている。		
			第3学年〈友情、信頼〉を扱い、男女間で異性として相手を慕う以外に どのような気持ちがあるかを考える活動を取り上げている。		
			第1学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、差別や偏見のない社会を実現するために身近にできることを考える活動を取り上げている。		
	いし	じめ問題への対応	第2学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、相手を尊重するために大切 なことについて考える活動を取り上げている。		
			第3学年〈相互理解、寛容〉について扱い、異なる意見を尊重しつつ、 自分も成長していくためにはどうすればよいか考える活動を 取り上げている。		
			第1学年 31(読み物・コラム35)		
_L.	教	中心的に扱う教材	第2学年 31(読み物・コラム33、漫画2)		
内容	材		第3学年 31(読み物・コラム33、漫画2)		
の			第1学年 2(その他2)		
構成·排	数	補助的に扱う教材	第2学年 2(その他2) 第3学年 2(その他2)		
那 列	議論を行い自分との関わ りで考察できる工夫		各学年に、考えを深めるための話し合いの視点を「話し合おう」を配置 し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で考えを深め、判断し、表 現する力などを育むことができるようになっている。		
	家庭との架け橋となる工夫		自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」や「学びの記録」を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されていることに加え、生徒の変容が保護者にも伝わるようになっている。		
用上	地域の人々との連携や地 域の行事との関連を図っ た学習活動の充実		全ての学年で郷土の伝統と文化に関する教材があり、郷土を大切にし、 有形無形の美しさや国や郷土への誇り、愛情を感じることが出来るよう に工夫がなされている。		
上の配	自らの成長を実感した り、これからの課題や目 標を見つけたりする工夫		自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。		
慮等	教材ごとのねらいやテー マの掲載状況		教材ごとに、4つの区分に関するイラストが冒頭に表示されている。また、テーマ別に分類された目次も掲載されている。		
		すごとの展開における 間の掲載状況	教材ごとに、価値理解や自己理解、人間理解に関わる発問が2つ掲載されている。		
その他	刀 ∥その他の特色				

135	D 74 /	発行者の	番号・略	教科書の記号・番	*L 1) + 1
種	目 道 往	恵		号	教科書名
観点	教和	斗書名等 232・廣あ	かつき	道徳 707 道徳 708 道徳 807 道徳 808 道徳 907 道徳 908	中学生の道徳 自分を見つめる 1 中学生の道徳ノート 自分を見つめる 1 中学生の道徳 自分を見つめる 2 中学生の道徳ノート 自分を見つめる 2 中学生の道徳 自分を見つめる 3 中学生の道徳ノート 自分を見つめる 3
取	地域への興味関心	第1学年第2学年第3学年	と文化の記 発展の を と 文化の記 を 発験等 と 水化の記 と 文化の記 と 大郷 土の に と 大郷 と 文化 と 文化 の 記 と 文化 の 記 と 文化 の 記 と 文化 の 記 か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	尊重、国を愛する態度 めに、自分はどのより上げている。 切上げている。 気統と文化の尊重、郷 尊重、国を愛する態と ているのかを考重、医 気統と文化のずる で で で で で が で が の が と で が の が と で に で が る の が る の が る の が る の が る の が る り と 、 る り と 、 る り と う る り と う る り と う る ら ら る ら く る ら ら ら く る ら く ら ら ら ら る と ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	土を愛する態度、我が国の伝統 >を扱い、郷土の特色の維持や なことをしているかを考える活 土を愛する態度、我が国の伝統 >を扱い、長く受け継がれてき に住む人々のどのような思いが 動等を取り上げている。 土を愛する態度、我が国の伝統 >を扱い、郷土の発展のために、 なことがあるかを考える活動等
	命の連続性	第1学年第2学年第3学年	< 生命の! きている。 を取り上は く生命の! 状況よう! く生命の! で、生命の!	尊さ>を扱い、この世 ことについて、どのよ ずている。 尊さ>を扱い、命を大 って考えが異なる中で なことが大切かを考え 尊さ>を扱い、人の生	に生まれてきたことや、今、生 うに感じているかを考える活動 切にすることについて、立場や 、生命の尊厳を守るためには、 る活動を取り上げている。 死に対して多様な考えがある中 、どのようなことが大切かを考
报 内 容	自己肯定感・自己なの醸成		< 向上心、 ばして充っ る活動を ら ったこと うとする う く 向上心、	個性の伸長>を扱い 実した生き方を追求す 取り上げている。 個性の伸長>を扱い 付き、個性を伸ばして 意欲を高める活動を取 個性の伸長>を扱い	、自己の向上を図り、個性を伸することの大切さについて考え 、自分らしさを発揮することの 充実した生き方を追求していこ り上げている 、自己を見つめ、向上を図って る活動を取り上げている。
	生活習慣 (ゲーム·スマホ) 第 2		く自主、E に気に自力をいった。E に気が切った。E に大りはいるというでは、E 切さに気がある。E	〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、自立心や自律性の大切さに気付き、自主的に考え、判断し、誠実に実行しくことの大切さについて考える活動を取り上げている。 〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、誠実であることの大切さに気付き、規範意識を高め、自律的に生きていこうとする態度の大切さについて考える活動を取り上げている。 〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、自律的な判断と責任の大切さに気付き、結果に責任をもつ態度が大切であることを考える活動を取り上げている。	
	情報化への対応		<相互理解 との大切。 <礼儀>る の大切され く自主、	解、寛容>を扱い、寛 さについて考える活動 を扱い、他者を思いや こついて考える活動を 自律、自由と責任>を こ責任をもつことの大	る心を伝えていこうとすること

	男女平等		第1学年	<友情、信頼>を扱い、相手を理解し、信頼し合える人間関係を築いていくことの大切さについて考える活動を取り上げている。			
			第2学年	<友情、信頼>を扱い、信頼と敬愛の念をもって人間関係を築くことの大切さについて考える活動等を取り上げている。			
			第3学年 <友情、信頼>を扱い、信頼と敬愛の念に基づき、互いを向上 させていける人間関係を築いていくことの大切さについて考 える活動等を取り上げている。				
			第1学年				
	いし	じめ問題への対応	第2学年	<公正、公平、社会正義>を扱い、自分の弱さに打ち勝って、 差別や偏見、いじめのない社会の実現に努めることの大切さに			
			第3学年	ついて考える活動等を取り上げている。 <公正、公平、社会正義>を扱い、差別や偏見、いじめや不正 な言動を断固として許さないことの大切さについて考える活 動等を取り上げている。			
内容の構	教材	中心的に扱う教材	第1学年 第2学年 第3学年	35(読み物35) 35(読み物35)			
成·排列、	数	補助的に扱う教材	第1学年 第2学年 第1学年				
分量等		倫を行い自分との関わ で考察できる工夫	とができる 的価値に関	た哲の言葉を手がかりに、主体的・対話的で深い学びを促すこ るよう、本冊教材のすべてにおいて、扱う題材や学習する道徳 関わる格言・名言が掲載されている			
	家庭との架け橋となる工 夫		る」を手か ている。ま	オごとに設けた「考える・話し合う」や「考えを広げる・深め がかりに、家族や友達と語り合うことができるように工夫され また、本書を媒介とした「子どもの心の成長」に関する家庭と ついて記載されている。			
使用	域0	成の人々との連携や地 O行事との関連を図っ 全習活動の充実	む教材(第 また、本冊	申に基づいて、社会に積極的に関わっていこうとする姿勢を育 第1学年:加山さんの願い、他)が掲載されている。 計すべての学年の巻末に「持続可能な社会」という視点で生徒 な社会参画意識を高めるページが特設されている。			
上の配点	り、	らの成長を実感した これからの課題や目 と見つけたりする工夫	とにより、 や目標を見 別冊の「追	冬末において、別冊を活用して「自分が自分に自分を問う」こ生徒が自分自身の学習を振り返って成長を実感したり、課題 見つけたりすることができるように工夫されている。 道徳ノート」に生徒の内面の記録をとることができ、長期的な らの成長を振り返ることができるように工夫されている。			
- - - - - - - - - -	ll .	教材ごとのねらいやテー 「i マの掲載状況 れ		各教材の「考える・話し合う」の部分に、ねらいが示されている。別冊 「道徳ノート」には、各教材のテーマと補助資料が掲載されており、こ れを足掛かりに、話し合い活動等にスムーズに進むことができるように 工夫されている。			
		オごとの展開における 引の掲載状況	各教材には、「考える・話し合う」が掲載され、そこで発問が明確に指示されており、生徒自らが主体的に考えることができるように工夫されている。				
その他	その	)他の特色	内容の重点 別冊「道徳	成にあたって年間3時間配当の「重点項目」が設定され、指導 京化に即した教材が用意されている。 恵ノート」が用意され、1単位時間の中での生徒の心の変容 と通しての心の成長を記録できるようになっている。			

種	道 徳	発行者の	番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
観点	教科書名等	233・日和		道徳・709 道徳・809 道徳・909	道徳 中学校1 生き方から学ぶ 道徳 中学校2 生き方から学ぶ 道徳 中学校3 生き方から学ぶ
	項 目	第1学年	と文化の尊	重、国を愛する態度〉	 愛する態度〉〈我が国の伝統 を扱い、家族や地域の人々 をもっているかを考える活動
取 扱 内 容	地域への興味関心	第2学年	等を取り上 〈郷土の伝統 と文化の尊 郷土の人々	げている。 と文化の尊重、郷土を 重、国を愛する態度〉る にとって、どのような』	愛する態度〉〈我が国の伝統 を扱い、地域の伝統行事は、 意味があるかを考える活動等 ノと札幌市、小樽市が舞台と
		第3学年	なる読み物 〈郷土の伝統 と文化の尊 く受け継が	教材が扱われている。 と文化の尊重、郷土を動 重、国を愛する態度〉る	受する態度〉〈我が国の伝統 を扱い、身のまわりにある長 印恵には、どのようなものが
	命の連続性		〈生命の尊さ 続性につい を取り上げ	〉を扱い、先祖から子孫 て、自分はどのような、 ている。	系へ受け渡していく生命の連 ことを感じるかを考える活動
			りするため る。	に行動するのはなぜかる	尊重したり、人の命を守った を考える活動を取り上げてい
			命の尊厳を 動を取り上	守るためには、どのよう げている。	て多様な考えがある中で、生うなことが大切かを考える活
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第1字年	良さや、変 していくこ	えたいところを見つめた	生きる喜び〉を扱い、自分の たり、個性を大事にして伸ば る生き方についてを考える活
			しい生き方 動等を取り	をするためには、どうい 上げている。	生きる喜び〉を扱い、自分ら いうことが大切かを考える活
		第3学年	がやりたく まちや失敗	ても挑戦できないこと	生きる喜び〉を扱い、他の人 をやろうとする姿勢や、あや 「動することが必要かを考え
	生活習慣 (ゲーム・スマホ)		〈節度、節制 ついて考え	〉を扱い、自分自身の <u>を</u> る活動を取り上げている	生活習慣で改善したいことに
			生活を振り いる。 〈節度、節制	返り、どうあるべきか? 〉を扱い、「もったい <sup>*</sup>	を考える活動等を取り上げて ない」精神の奥にある思い等
	情報化への対応		〈公正、公平 りを通して が必要かを	友達との関係をよくする 考える活動を取り上げ	無料通話アプリ上でのやりと るためには、どのような配慮 ている。 -ネットを通して、コミュニ

			,			
			ケーションを図る上で、どのような配慮が必要かを考える活動			
			を取り上げている。			
			第3学年〈友情、信頼〉を扱い、スマートフォンやインターネットを介し			
			てコミュニケーションを取るときに大切なことはどのようなこ			
			とかを考える活動を取り上げている。			
	男女平等		第1学年〈友情、信頼〉を扱い、異性についての理解を深めることの大切			
			さを考える活動を取り上げている。			
			第2学年〈友情、信頼〉で、性同一性障がいを扱い、多様な性について考			
			える活動を取り入れている。			
			第3学年〈友情、信頼〉を扱い、悩みや葛藤を経験しながら人間関係を深			
			めることの大切さを取り上げている。			
	いじめ問題への対応		第1学年〈友情、信頼〉〈公正、公平、社会正義〉を扱い、友達とよい関			
			係を築くために大切なことを考える活動を取り上げている。			
			第2学年〈相互理解、寛容〉を扱い、コミュニケーションをとる上での配			
			慮としてどのようなことがあるかを考える活動を取り上げてい			
			る。			
			第3学年〈友情、信頼〉を扱い、いじめのない社会の実現に努めることの			
			大切さを考える活動を取り上げている。			
		第1学年37 (読み物35、漫画1、他1)				
	■教□中心的に扱う教材		第2学年37 (読み物34、写真1、漫画1、他1)			
		第3学年37 (読み物34、他3)				
内容	材	第1学年11 (読み物・コラム7、他4)				
<i>の</i>	数 補助的に扱う教材		第2学年13 (読み物・コラム8、他5)			
構成			第3学年7 (読み物・コラム4、写真1、他2)			
排排			各学年に考えを深めるための話し合いの視点を示す「考え、話し合ってみ			
列	議論を行い自分との関わ りで考察できる工夫		谷子平に考えを保めるための話し合いの視点を示す「考え、話し合うでみ    よう そして、深めよう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接す			
			より てして、深めより」を配置し、生使が多様な感じ力や考え方に接り     る中で、考えを深め、判断し、表現する力を育むことができるよう工夫さ			
			る中で、考えを探め、刊劇し、表現する力を自むことができるよう工大さ			
	家庭との架け橋となる工   夫		各学年に、学年末に記入する「○年生の心の成長を振り返りましょう」を			
			配置し、保護者が生徒の考えを目にすることができるようになっている。			
使	地填	或の人々との連携や地	各学年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載されて			
用用	域の行事との関連を図っ		おり、地域の伝統や文化を守ること、自分たちの地域のためにどんなこと			
711	た学習活動の充実		ができるかを考えることができるよう工夫されている。			
上	自らの成長を実感した り、これからの課題や目		各学年に、学年末に記入する「○年生の心の成長を振り返りましょう」を			
の			配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもっ			
		を見つけたりする工夫	たりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。			
配	IN CHANCE FOR STA		Territorial and the state of th			
慮	教材ごとのねらいやテー		教材ごとに、タイトルは示されている。学習するテーマ(内容項目)は明			
	■マの掲載状況   記されていないが、教材は		記されていないが、教材は内容項目ごとに分類されて配列されている。			
等						
	教材ごとの展開における 発問の掲載状況		   各教材に1~3問ずつ、発問が示されている。			
			百歌内(CI ~ 3 回 ) ノ、池回がかされて('3。 			
マ	その他の特色					
の			学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			
他						